



水曜日の午後

歌オフコース 作詞・曲 小田和正

もう少し早く気がつけば 誇りと自信を失くして
どんなに小さくなった自分でも 夢さえあれば何とか生きていける
ウー ウー あたたかい雨の降る水曜日
少しだけ心も落ちついた 夕方には晴れるかな

朝もやにつつまれた公園で ふりそそぐ透明なこもれ日に
まだ何かできるかもしれない そんな望みを感じながら
ア・ハハー あたたかい雨の降る水曜日
少しだけ心も落ちついた 夕方には晴れるかな

あたたかい雨の降る水曜日
少しだけ心も落ちついた も一度はじめよう



APIS では第4水曜日トーク&トークが開かれています。
6月26日(水)雨。参加者から紹介されたこの詩が心に
響きました。毎回、色々な人との出会いが楽しみです。
(Y.M)

Index

- APIS とびらのうた (Y.M) 1
- APIS 巻頭言 (横山恵子) 2
- APIS 平成25年度大阪市市民活動推進助成事業 報告(鈴木登喜子・山田悦子) 3
- CAP 講師派遣「すてきな私をつくりましょう」報告感想(富士博良) 4
- APIS トークタイム研修報告(橋本令子・仲真左子)、プチ講座「SP トランプ」(N) 5
- APIS CCJ 研修報告(佐々木興子) 6
- APIS 第8回APIS 通常総会とワークショップ報告、チャリティフリーマーケット報告 7
- APIS 活動記録 8

ごあいさつ

APIS 3代目の理事長になりました横山からごあいさつ申し上げます。

NPO 法人設立 9 年目で 3 人が理事長を担うのは替わり過ぎという印象を持たれる方もあるかと思いますが、少しばかりいきさつを述べさせていただきます。

APIS が任意団体から法人格を取得するにあたって理事長の任を引き受けたメンバーから理事会の場で「理事長が交代する仕組みを決めて欲しい」という提案がありました。1 人が長く続けることで力関係の固定化が起こることを避けたいということが理由でした。そもそも CAP（子どもへの暴力防止）をしたいという有志の集まりから始まった活動の場ですので、互いの関係性についても敏感であり、特に暴力的な関係に陥ることを避ける工夫を様々に実践して実践してまいりましたので、その提案は受け入れられ、5 年を超えない、つまり 2 期 4 年をもって交代していくことを内規として申し合わせました。

この精神は昨年 4 月の NPO 法改正施行にあたって引き継がれ、代表権を理事長のみが持つのではなく、理事全員が持つ（各自代表）方針での定款変更と登記申請を行ないました。メンバーの対等性を制度上に乗せれば当然のことでしたが、法務局の窓口で対応する職員から「非常にレア」と呟かれ、所管する大阪市職員からは「こんな登記簿謄本見たこと無い」と珍しがられることになりました。

日々、メンバーは APIS という場所や組織を基盤として、自らの課題や社会の課題である様々な事象に自ら取り組み続け、汗や涙を流し、ため息をつきながらも、互いを尊重しあえるより良い社会を夢みて活動しています。愚痴をこぼし合い、時たま訪れる朗報を分ち合う仲間、若々しくユニークなメンバー揃いの APIS をこれからもどうぞよろしく願いいたします。

以上、パッと見はしっかりしてそうだけどころへんてこな横山恵子でした。

